

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 いきいきっ子クラブ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月8日		令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年 1月8日		令和8年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○一人ひとりに合わせた支援の提供ができるよう、職員で情報を共有しながら支援を行っている。	○ご利用児の変化や良かった支援等を共有するようにしている。 ○月に一回情報共有会議設けることで、支援の仕方、活動の進め方について意見を交換したり確認し合ったりできている。	○勤務形態の関係で会議に参加が出来なかった職員にも上手く情報が伝わるよう日誌やホワイトボード等活用していく。
2	○ほぼマンツーマンで支援ができている為、一人ひとりに寄り添いお子さんに合わせて職員が環境を整え個別や集団にて支援している。	○一人ひとりの気持ちは受け止められる環境である。	○さらに個々の成長を促していく為に、多職種との連携を図ったり、施設支援等今後も活用していく。
3	○ホールがある為、伸び伸びと体を動かすことができる。 ○活動内容によって部屋を分けられる。	○年齢や活動内容によって部屋を使い分けることで、環境を整えている。	○更に使い勝手がよくなるように、机、椅子、道具などの配置や設置を考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休暇に放課後等デイサービスと児童発達支援事業と開所時間が重なると、人材確保が難しい。	一度に20名お預かりをし、職員の人数配置は変わらない為、普段の支援よりは手薄になってしまう。	ボランティアやアルバイトをお願いし、安心安全な支援が行えるようにする。
2	保護者会(きょうだい児)のお知らせが行き届いていない。	月のおたよりや保護者会の案内のおたよりで開催日をお知らせしているが、周知にまではいたっていない。	毎月の行事を掲示板に掲示しお知らせしていく。
3	トイレが子ども用ではない為、対応が難しいことがある。	子ども用の便座をつけているが、高さもある為、抱える支援が必要であったり、混雑時に待ってもらったりすることがある。	踏み台等で対応していく。また、リフォームができるのなら少しずつ対応していく。